

**【資料 4】**  
**野路委員 提出資料**

# 大阪大学とコマツとの連携

(年度)		~2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017~
連携形態	個別の共同研究のみ	包括連携協定	共同研究講座(建機等イノベーション講座)										協働研究所(みらい建機)		
			第1期	第2期	第3期										
人的交流	先生と担当者間で個々に連携	組織対組織の連携													
		コマツ費用による大学教員雇用(特任教員)										特任教員増員し研究力強化			
		コマツから阪大に研究者派遣(大学に常駐)													
クローアポ															

2004年: 包括連携協定締結 組織対組織の連携を開始

2006年: 共同研究講座設置 特任教員雇用、常駐研究者派遣

2015年: 協働研究所として体制強化

2017年: クローアポ開始 阪大教授がコマツ研究者を兼務

	協働研究所(2015年~)	クロスアポイントメント(2017年~)
[人材活用・育成]	若手へのポスト提供、斬新な発想、ポスドクのコマツ採用、企業人の学生指導、他部局の研究力	一流研究者の知見、経験、頭脳が、企業の研究開発に参画する
[形態]	組織対組織の連携	教授が一部時間コマツ社員となる(コマツ2割、阪大8割)
[人員]	ポスドク4人+コマツ派遣2人(常駐)	1人
[費用]	全額コマツ負担 間接経費(20%) + 賃料 ポスドク雇用の人件費	コマツが負担するのは 時間相当分給与 + インセンティブ
[テーマ]	コマツが提示(アカデミック要素も考慮)	コマツテーマ
[場所]	キャンパス内専用スペース	←(協働研究所内)